

衆議院比例四国・名簿登載予定

比例は日本共産党

白川勝利で 四国から 野党連合政権の実現を

白川よう子



LINE 公式アカウント



2月7日投票の愛媛県今治市議選で、松田澄子さんが2期目の当選を果たしました。



8日、党香川県委員会、県議団は浜田恵造知事に対し、県内の介護施設職員にPCR検査を実施する判断に敬意を表し、「医療や学校・保育現場にも広げてほしい」と要望。「生活保護は権利」との再啓発や、医療機関への補償・減収補填など、「新型コロナウイルス対策に関する緊急要望」を提出しました。



2月6日、香川県の革新懇と9条の会は高松市で政権交代を求めて集会を開き、リレートークで白川よう子さんや吉峰幸夫・立憲民主党市議、井角操・新社会党県本部委員長、北原孝夫・香川民連連会長が「市民と野党が共闘し、私たちの声が届く政治を」と訴えました。

「好きな色は何色？」の質問に、「レインボーカラー（虹色）」と答えた人を「ずるい」と思ったことがある。自分はそれまで「一つの色」を選んで答えなければならぬと思いついでいたからだ。多様性を認め合うことは当たり前前に大切なことだと、その人から教えられ続けている。

しかし日本の中枢には、多様性の大切さどころか、多様性を認めることもできない人がまだまだたくさんいる。東京オリ・パラ組織委員会（JOC）の森喜朗会長もその一人。

「謝罪」の会見を見ても、この人は事の本質はわかっていないと思う。森会長は女性理事の任用が進められていることに、「文科省がうるさく言うんでね」などと発言。彼にとってこの課題は「うるさく言われるからやる」課題のようだ。日本のジェンダーギャップ指数や、「女性差別撤廃条約」に基づく目標などは何とも思わない。ジェンダー差別は、支配階級が政治的につくり国民に押し付けてきたものだということが本当によくわかる。

ハッキリ言おう。森会長はアウト！だ。意思決定の場、政策決定の場に女性の必要性を認めない会長は即時辞任を。菅首相の見識・責任も問われている。

一人ひとりが、おかしいことの前で黙り込み、おかしいことを笑ってごまかすことをやめよう。そして、私自身が意思決定の場に行こう。四国に一人も女性衆議院議員がない現状をまずは変える！

よう子記
